



ビジーボードを作る親子

指先を使って遊ぼう 親子でおもちゃ作り

子育て支援センター主催の子育て講座「手作りおもちゃ教室」が3月10日に開催され、4組の親子が参加しました。

参加者は、ボードにビーズや鈴、ボタンなどを取り付けた「ビジーボード」を製作。摘まむ、握る、引っ張るなど指先を使った遊びができる仕掛けが施され、ファスナーを上げ下げしたり、ひもを結んだりする練習もできるおもちゃを完成させました。子どもたちはカラフルなパーツに夢中になり、保護者もオリジナルのおもちゃ作りを楽しんでいました。

自ら命を守る行動を 葛小児童が防災学ぶ

3月11日、葛巻小学校（佐々木美江子校長、児童101人）で「葛小いのちをまもる日3.11集会」が行われました。

集会では、防災士の佐藤一男さん（陸前高田市）が、東日本大震災の被災経験を交え講話を行いました。佐藤さんは「地域で起こりやすい災害をよく知り、自分で判断し行動できるようになりましょう」と日頃の心構えが大切であることを伝えていました。近藤莉帆さん（6年）は「災害時には、自分の命を守る行動を取るようにします」と防災の意識を高めていました。



講師の佐藤さん（円内）の話に真剣に聞き入る児童

中高生サッカー教室 鳴尾さんが手ほどき

県サッカー協会の鳴尾直軌さん（プロサッカーチームグループ盛岡元監督）が3月18日、葛巻中学校体育館でサッカー教室を行い、中高生ら14人が参加しました。

鳴尾さんは、ボールを相手に奪われず保持し続けるポゼッション率を高めるため、日頃の練習から正確なパスやトラップを意識するように指導。生徒たちは真剣に耳を傾け、実践していました。鳴尾さんは「コロナ禍でも目標を先に据え、高いモチベーションで練習して欲しい」と話していました。



鳴尾さんから実技指導を受ける生徒



夜空を見上げ星を観察する参加者

冬の星空観察会 寒さも忘れ満喫

町観光協会（遠藤裕樹会長）主催の「くずまき冬の星空観察会」が2月27日、森のこだま館で開催され30人が参加しました。

講師の齊藤政宏さん（滝沢市）が、1等星シリウスやオリオン座など冬を代表する星座を説明すると、参加者は寒さも忘れたように夜空に輝く星に見入っていました。望遠鏡を覗いてプレアデス星団やベテルギウスなどを観察した伊藤絆莉さん（葛巻小4年）は、「きれいな星がたくさん見られて良かった」と冬の星空を満喫した様子でした。

住宅取得など支援 4組に奨励金交付

2月28日、若者定住奨励金と住宅取得補助金の交付式が役場で行われ、4組が出席しました。

鈴木重男町長は「皆さんが安心して豊かに暮らせるよう願う奨励金で、他の町には無い制度ですので、皆さんからも町と一緒に暮らしましょうと、情報を発信して欲しい」とあいさつしました。昨年、住宅を新築した中村大地さん（橋場）は「いただいた補助金を活用し、新しい家で子育てに必要なものを揃えていきたい」と話し、家族で町に暮らし続ける気持ちを新たにしたいようでした。



鈴木町長から住宅取得補助金を受け取る中村さん家族

葛保で桃の節句 ひな祭り誕生会

3月3日、葛巻保育園でひな祭り誕生会が行われました。

初めに、3月に誕生日を迎える園児3人が紹介され、お友達からプレゼントが贈られました。引き続き行われたひな祭りでは、保育士が園のホールに飾られたひな壇の人形や飾りの名前を質問すると、園児は「三人官女」、「五人囃子」、「桃の花」などと元気よく答え、保育士からそれぞれの意味や由来などを学んでいました。その後「うれしいひな祭り」をみんなで歌い、季節の行事を楽しみました。



ひな人形の説明を聞く園児